1 iStorage NSの運用設定を行う

- iStorage NS 導入準備
- iStorage NS のリモート管理
- 管理者メニュー
- ディスクの管理
- ユーザー/グループ管理

1.1 iStorage NS 導入準備

1.1.1 LAN 運用環境

LAN の運用について以下の情報をネットワーク管理者とご相談の上決定してください。

- ネットワークへの接続形態（ワークグループとして接続するか、既存のドメインに参加するか）
- IPアドレスの設定方式（ＤＨＣＰサーバーを使用するかどうか）
- コンピュータ名
- ワークグループ名
- 管理者のパスワード
- IPアドレスとマスク値（IPアドレスを直接指定する場合）
- デフォルトゲートウェイ（IPアドレスを直接指定する場合）
- DNSサーバーのIPアドレス（DNSサーバーを直接指定する場合）

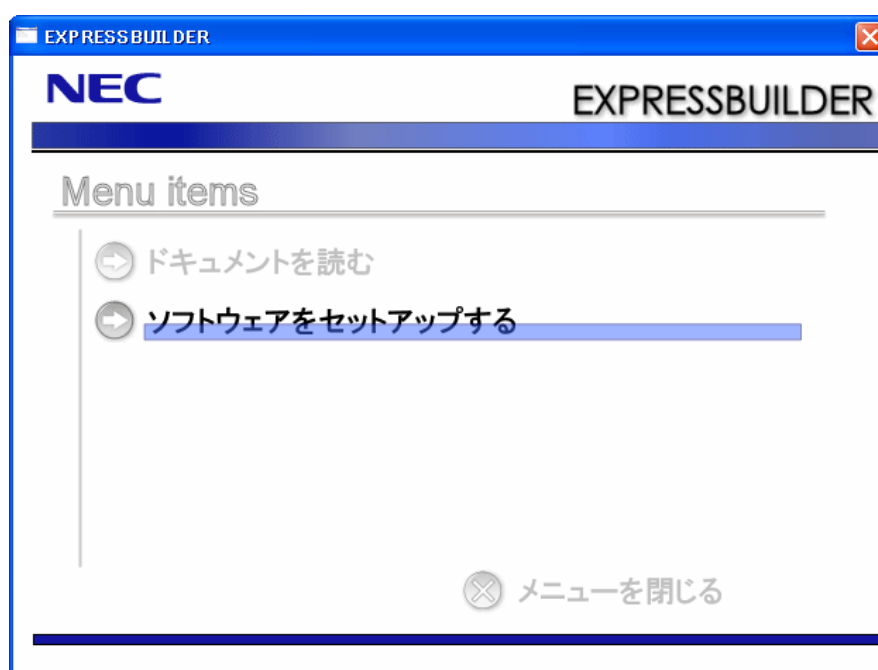
1.1.2 初期設定ツールを使用する

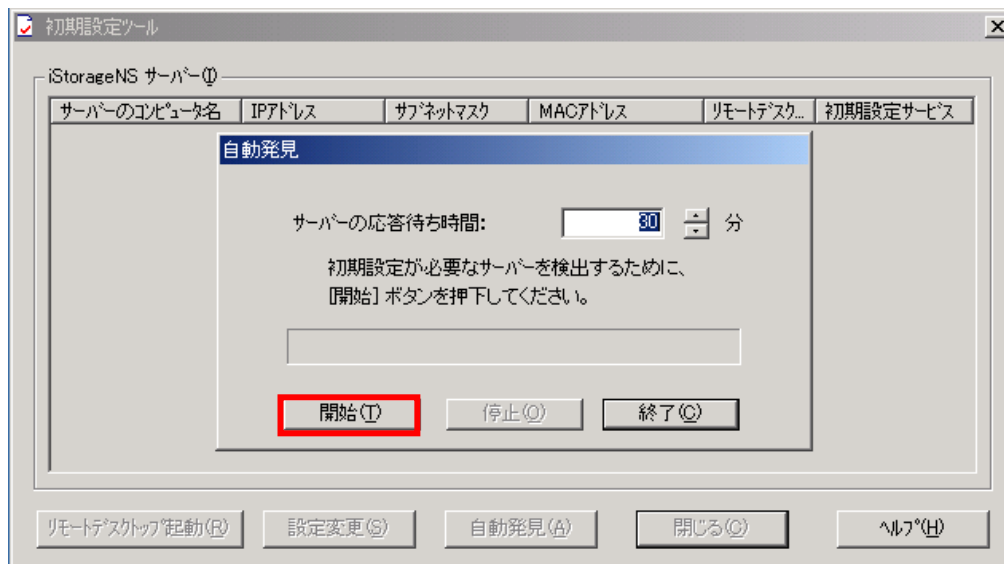
iStorage NS シリーズでは、「EXPRESSBUILDER」CD-ROM に格納されている初期設定ツールを使用してコンピュータ名、IP アドレスを設定します。管理 PC （Windows2000/ Windows 2003/ Windows 2003 R2/ Windows 2008/ Windows 2008 R2/ Windows XP/ Windows Vista/ Windows 7） に、装置添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROM をセットして初期設定ツールを起動し、前述の【**1.1.1 LAN** 運用環境】に記載した情報を基に初期設定を行ってください。

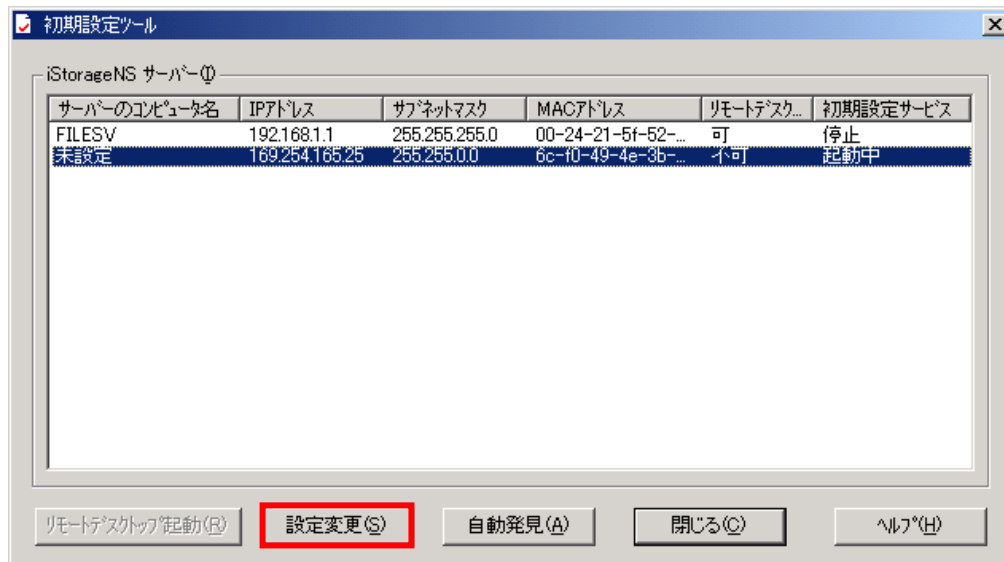
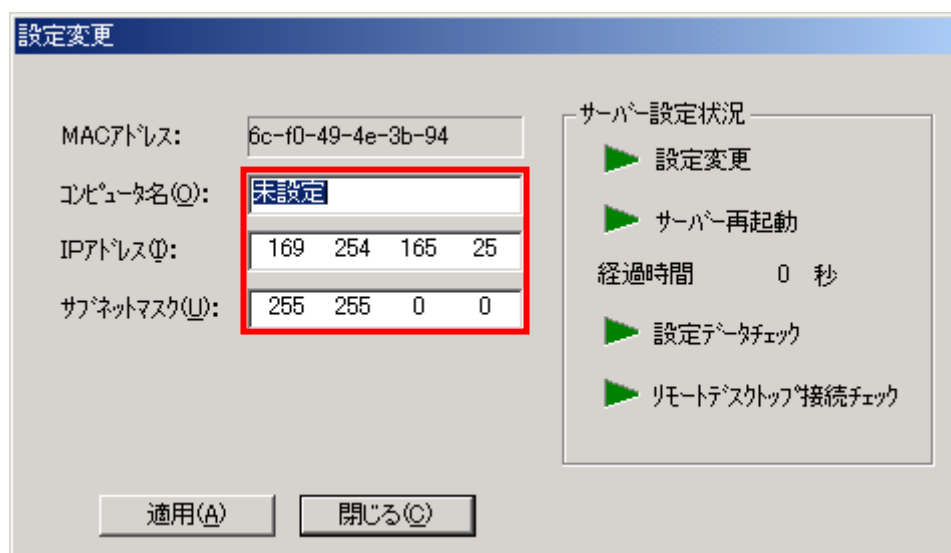
【注意】
- IPアドレスとサブネットマスクは、初期設定およびリモートデスクトップ接続を行う管理PC (Windowsマシン) と同じネットワークアドレスになるよう設定してください。
- 同一ネットワーク上で複数の iStorage NS を初期設定する場合は、１台ずつ起動して初期設定を行い、初期設定完了後に次の1台を起動してください。
- 初期設定で使用できるLANポートは１ポートのみです。スタートアップガイドを参照してケーブルを接続してください。
- 出荷時には初期設定ツールで使用するポートは開いた状態になっています。
初期設定後に、後述する手順に従ってポートを閉じてください。

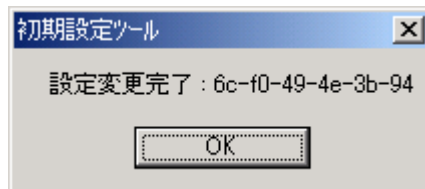
1. iStorage NS の電源を ON にし、管理 PC の光ディスクドライブに、「EXPRESSBUILDER」CD-ROM をセットします。オートラン機能によりメニューが自動的に表示されます。

【補足】 表示されない場合は、一度光ディスクドライブから「EXPRESSBUILDER」CD-ROM をイジェクトし、再度セットしてください。

2. [ソフトウェアをセットアップする] をクリックして、表示されたメニューから [初期設定ツール] をクリックします。

3. 初回のみ、[ご確認] 画面が表示されます。装置添付の使用許諾契約書をご一読の上、[OK] ボタンをクリックします。

4.　初期設定が必要なサーバーを検出するために、[開始] ボタンをクリックします。

対象となるサーバーが、初期設定ツール画面内の [サーバーのコンピュータ名] 欄に "未設定" と表示されます。"未設定" のサーバーが検出されましたら、[停止] ボタンをクリックして自動発見を停止後、[終了] ボタンをクリックして自動発見を終了させます。なお、対象となるサーバーの OS が起動するまでには、構成によって、20～30 分かかる場合があります。30 分経っても検出できない場合は、再度 [開始] ボタンをクリックしてください。

5. "未設定" のサーバーのリモートデスクトップ起動の表示が「確認中」から「可」に変わった場合は、リモートデスクトップによる接続が可能なため、"未設定" のサーバーを選択し、[リモートデスクトップの起動] をクリックして【1.1.3 iStorage NSにログオンする】に進んでください。「不可」に変わった場合は、"未設定" のサーバーを選択し、[設定変更] ボタンをクリックします。

6. コンピュータ名、IP アドレス、サブネットマスクを入力して [適用] ボタンをクリックします。

7. 設定変更を確認するウィンドウが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。サーバー設定の変更が始まり、サーバー設定状況の内容が順次更新されます。

8. 完了メッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

以上で、本装置の初期設定が完了し、リモートデスクトップ接続で管理できる状態になりました。

1.1.3 iStorage NSにログオンする

1. 管理 PC でリモートデスクトップを起動します。

2. 接続先に本装置のコンピュータ名をまたは IP アドレスを入力します。

3. ユーザー名に「administrator」を入力し、次にパスワードを入力して [OK] ボタンをクリックします。

【補足】 パスワードはあらかじめ設定されています。装置添付のスタートアップガイドを参照してください。

1.1.4 管理者のパスワードを変更する

administrator のパスワードは出荷時にあらかじめ設定されていますが、本装置のセキュリティを保つために必ず変更してください。

1. スタートボタンをクリックし、[Windows セキュリティ] をクリックします。

2. [パスワードの変更] をクリックします。

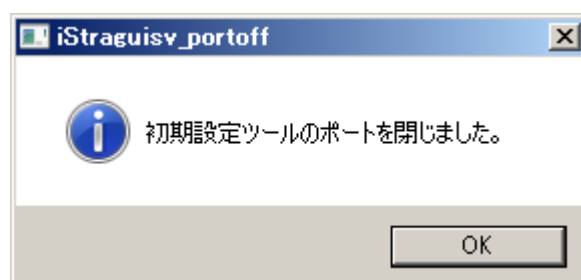
3. [古いパスワード]、[新しいパスワード]、[パスワードの確認入力] にそれぞれ入力して をクリックします。

4. [パスワードが変更されました] と表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。

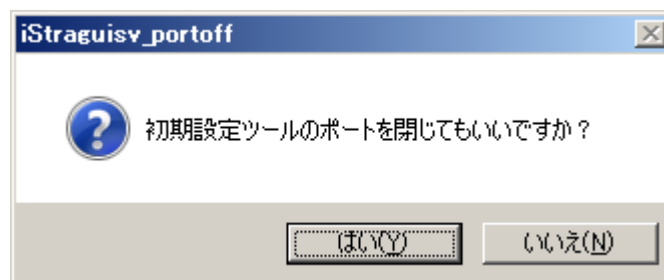
【注意】
- パスワードの有効期限は初期設定では 42 日になっておりますので、お客様のポリシーに合わせて適宜変更してください。
- パスワードの文字数は 6 文字以上である必要があります。また、パスワードには、英大文字、英小文字、数字、アルファベット以外の文字の 4 つの種類のうち 3 つの種類が使用されていなければなりません。

1.1.5　初期設定ツール用のポートを閉じる

出荷時には初期設定ツールで使用するポートが開かれた状態になっています。初期設定後には以下の手順でポートを閉じてください。

1.　[初期構成タスク] 画面の [初期設定ツール使用ポートの閉鎖] をクリックします。

【補足】 [初期構成タスク] 画面を閉じた場合、または [ログオン時にこのウィンドウを表示しない] のチェックを無効にした場合は、以下の方法で [初期構成タスク] 画面を再表示することができます。

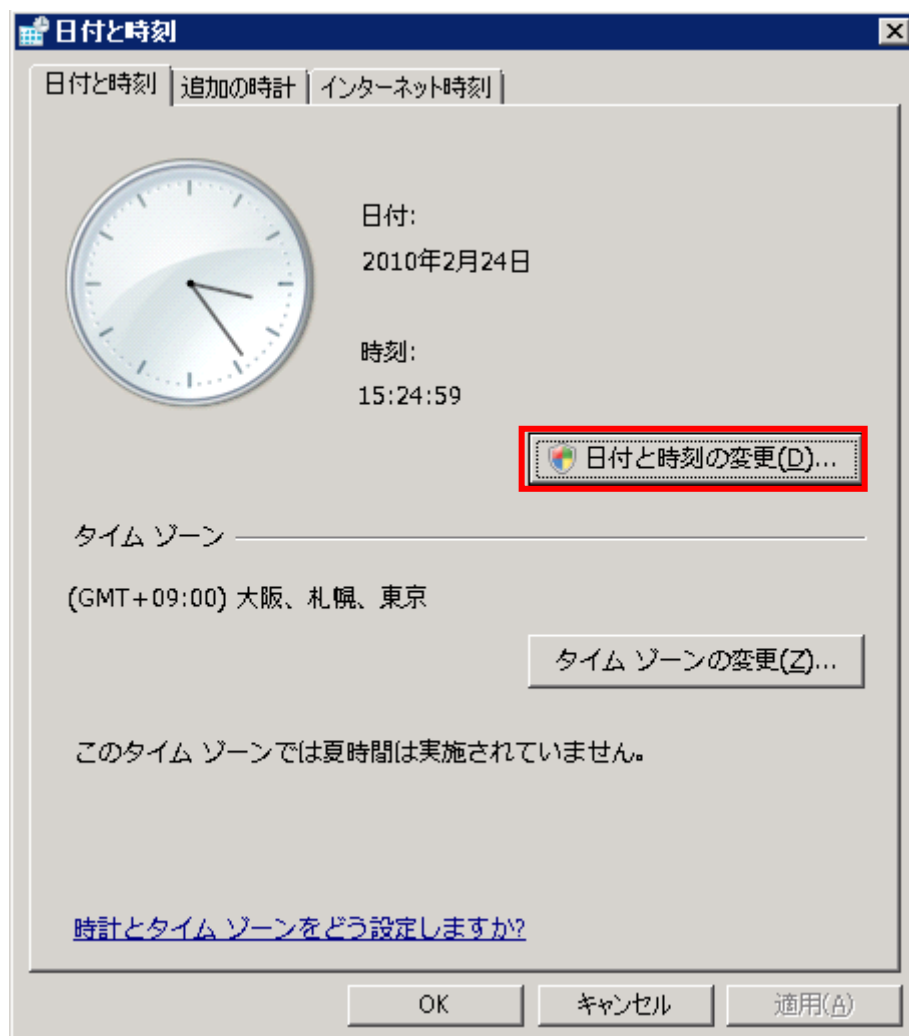
・ [スタート] → [検索の開始] 欄に oobe と入力して Enter キーを押下する

2.　以下のメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。

3.　以下のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

1.1.6　日付と時刻を設定する

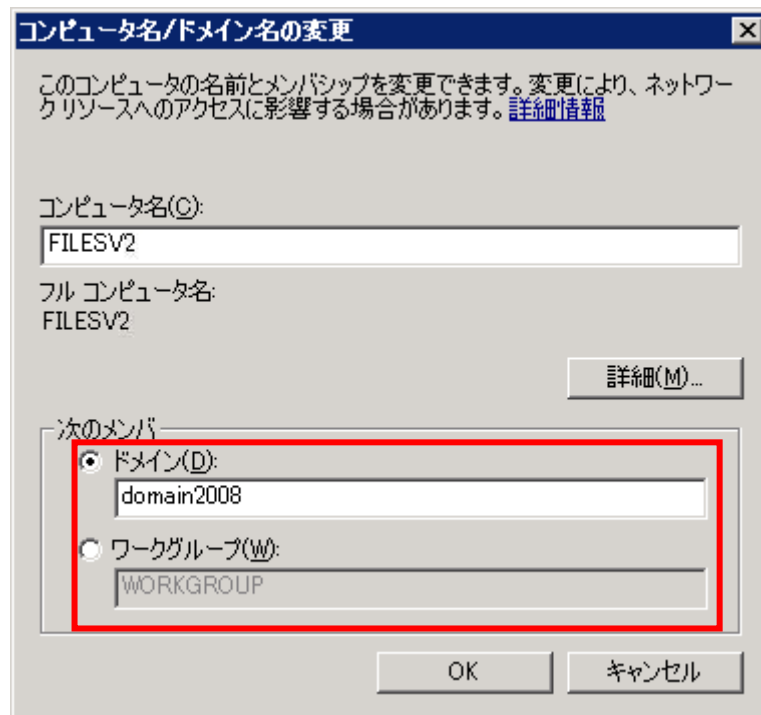
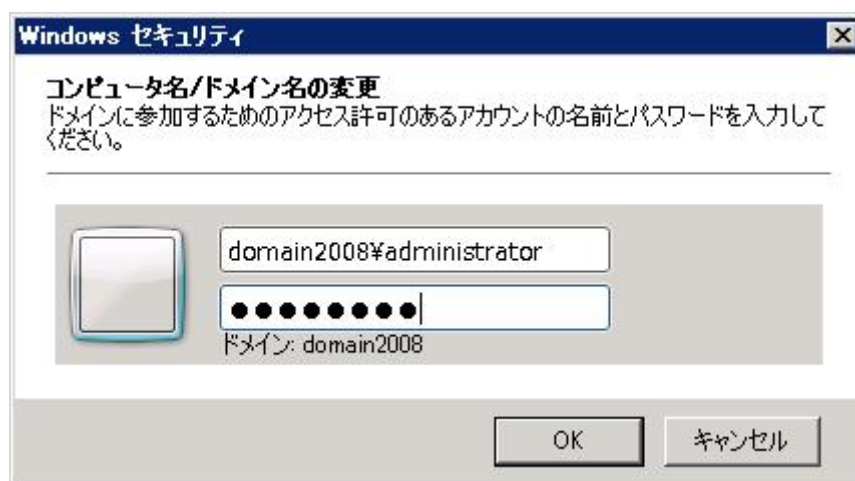
日時が自動更新の環境でない場合は設定してください。

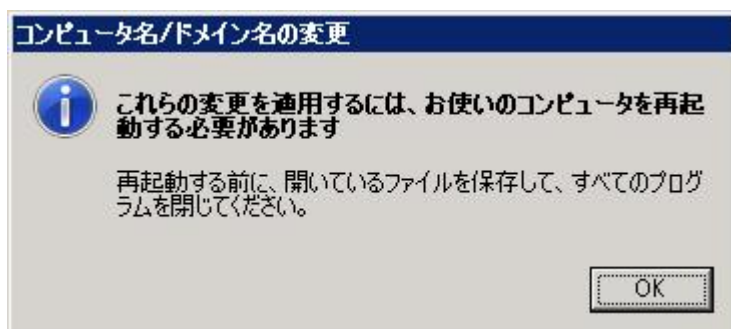
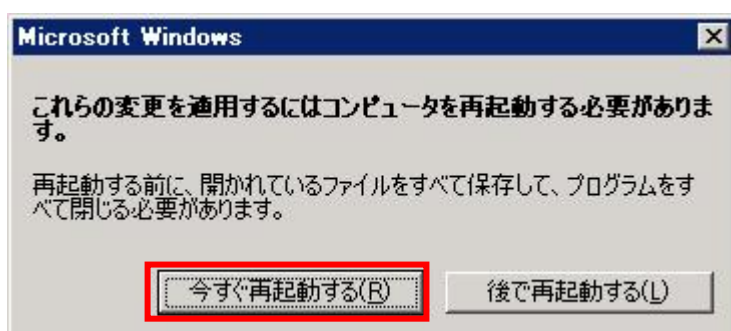
1.　[初期構成タスク] 画面の [タイムゾーンの設定] をクリックします。

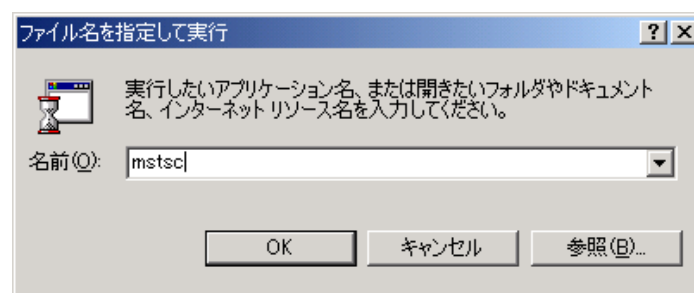
2.　[日付と時刻] タブで、[日付と時刻の変更] ボタンをクリックします。

3.　日付と時刻を合わせて [OK] ボタンをクリックします。日付と時刻のプロパティ画面を閉じます。

1.1.7　コンピュータ名／ドメインを設定する

1.　[初期構成タスク] 画面の [コンピュータ名とドメインの入力] をクリックします。

2. [変更] ボタンをクリックし、コンピュータ名、参加するワークグループ/ドメインを指定して [OK] ボタンをクリックします。

3. [Windows セキュリティ] 画面が表示されたら、ワークグループ／ドメイン参加に関して権限のあるユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

4. 以下のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

5. 以下のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

6. [閉じる] ボタンをクリックしてシステムのプロパティ画面を閉じます。以下の画面が表示されたら、[今すぐ再起動する] ボタンをクリックして iStorage NS を再起動します。

1.2 iStorage NS のリモート管理

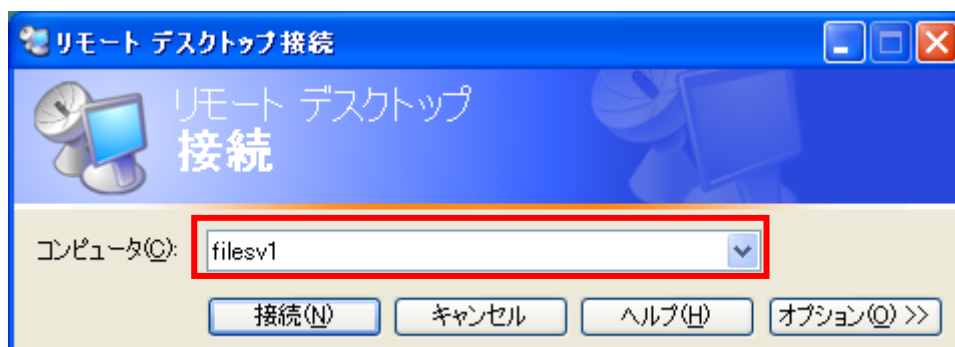
iStorage NS では、システム管理者がネットワークを経由してログオンし、ユーザー作成や共有などの設定を行うことができます。以下の接続方法により、iStorage NS にリモートログオンできます。

- リモートデスクトップによる接続
- Windows OS でブラウザ（RDP Web サイト）による接続
- Windows OS 以外でブラウザ（RDP Web サイト）による接続

それぞれの接続方法について説明します。

1.2.1 リモートデスクトップでの接続

システム管理者は、リモートデスクトップ接続を使用して、Windows ベースのコンピュータから iStorage NS を管理することができます。以下に、リモートデスクトップを使用する接続手順を記載します。

1. 管理 PC で [スタート] → [ファイル名を指定して実行] を選択し、[名前] 欄に “mstsc” と入力して [OK] ボタンをクリックします。

2. [コンピュータ] に、接続する iStorage NS のコンピュータ名または IP アドレスを入力して [接続] ボタンをクリックします。

3. 管理者権限のあるアカウントのユーザー名とパスワードでログオンします。

4. ログオン後、[管理者メニュー] と [サーバーマネージャ] が起動します。

> 【注意】 リモートデスクトップで iStorage NS にログオンできるのは、管理者権限を持つユーザーのみです。また同時接続可能なのは 2 セッションまでです。

1.2.2　ブラウザ（RDP Webサイト）での接続

1.2.2.1　クライアント側の RDP Web サイト設定手順

システム管理者は、管理 PC からブラウザを使用して、iStorage NS をリモート管理することができます。クライアントの設定として、Windows による設定手順と UNIX による設定手順があります。

【注意】 Java Runtime Environment (JRE) が正しくインストールされていないと、"このページのすべてのメディアを表示するには追加のプラグインが必要です" というメッセージが表示される場合があります。Microsoft 以外のシステムへの JRE のインストールについては、Java Web サイトのインストール方法を参照してください。

1.2.2.1.1.　Windows クライアントでの RDP Web サイト設定

Windows からブラウザを使用して、iStorage NS を実行しているサーバーをリモート管理する場合、Internet Explorer で ActiveX コンポーネントの使用を有効にする必要があります。

[Internet Explorer で ActiveX コンポーネントの使用を有効にするには]

1. Internet Explorer を開きます。

2. [ツール] メニューの [インターネットオプション] をクリックします。

3. [セキュリティ] タブの [信頼済みサイト] を選択し、[レベルのカスタマイズ] をクリックします。

4. [設定] で [スクリプトを実行しても安全だとマークされていない ActiveX コントロールの初期化とスクリプトの実行] までスクロールし、[有効にする] または [ダイアログを表示する] のいずれかをクリックします。

5. [OK] をクリックし、セキュリティポリシーの変更を保存します。

1.2.2.1.2. UNIX クライアントでの RDP Web サイト設定

Windows Server リモート管理アプレットを使用すると、Microsoft 以外のコンピュータから iStorage NS をリモート管理できます。このアプレットは、クライアント コンピュータ上のブラウザで実行されます。次のブラウザに対応しています。

- Firefox バージョン 1.0.6 (以降)
- Mozilla バージョン 1.7.11 (以降)

Windows Server リモート管理アプレットは、Java 2 Runtime Environment バージョン 1.4.2 を実行しているクライアントでサポートされます。クライアントのコンピュータでは、次のオペレーティング システムが実行されている必要があります。

- Red Hat Enterprise Linux 3 WS
- Red Hat Enterprise Linux 4 WS
- SuSE Linux Enterprise Server 9
- SuSE Linux Enterprise Server 10

ブラウザを使用して接続を確立できます。Windows Server リモート管理アプレットでは、サウンドのリダイレクト、プリンタやポートのリダイレクト、およびアプリケーションの自動的な起動はサポートされていません。

1.2.2.2 ブラウザでの接続手順

ここでは、iStorage NS へのブラウザでの接続手順について説明します。

1. 管理 PC でブラウザを開きます。

2. iStorage NS のネットワーク名またはネットワーク IP アドレスを入力し、末尾に “/desktop” をつけます。 (例えば、http://myStorageServer/desktop)

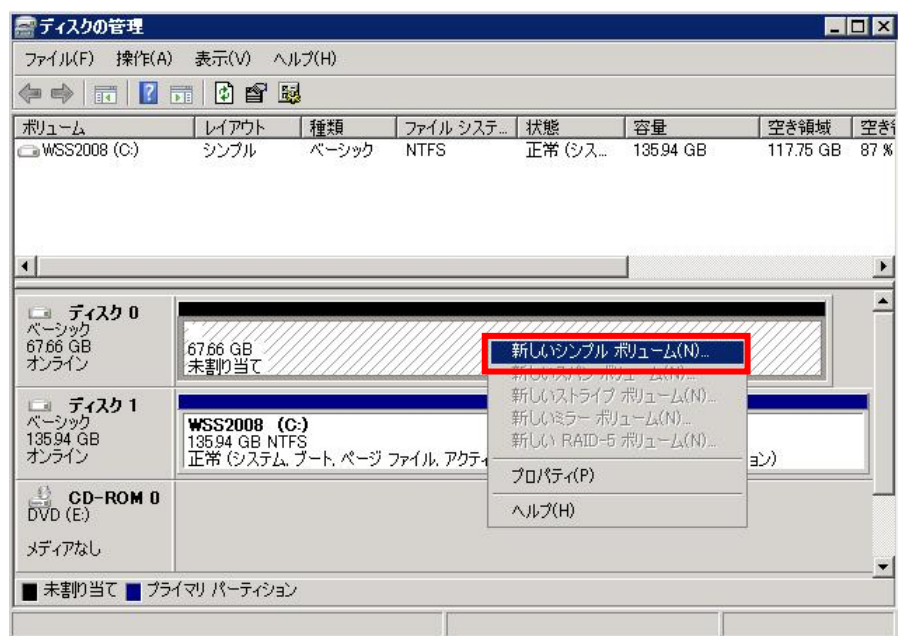
3. [リモート管理デスクトップ] で、システム管理者アカウント情報を入力します。

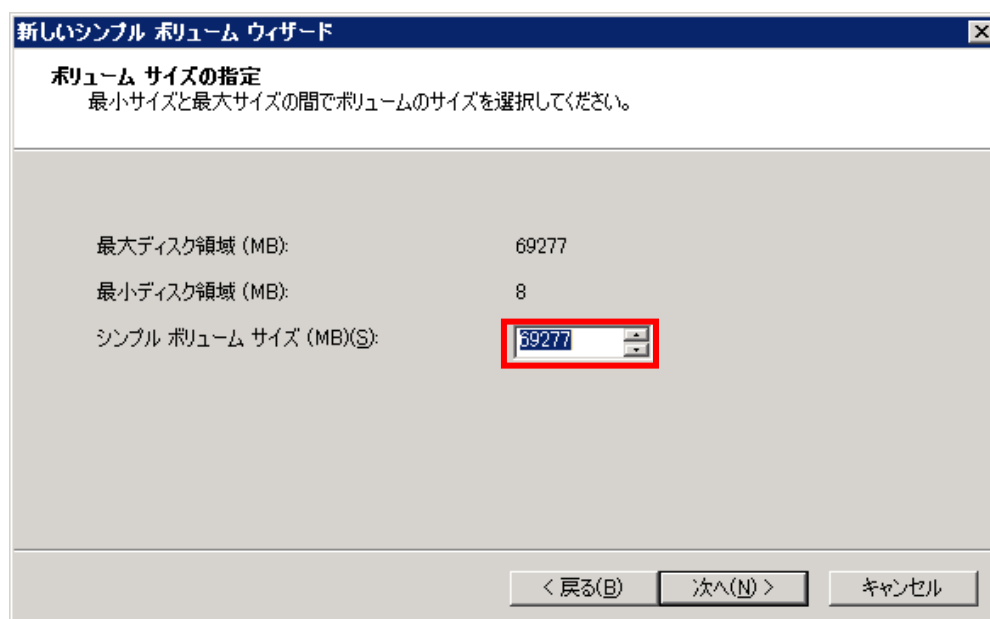
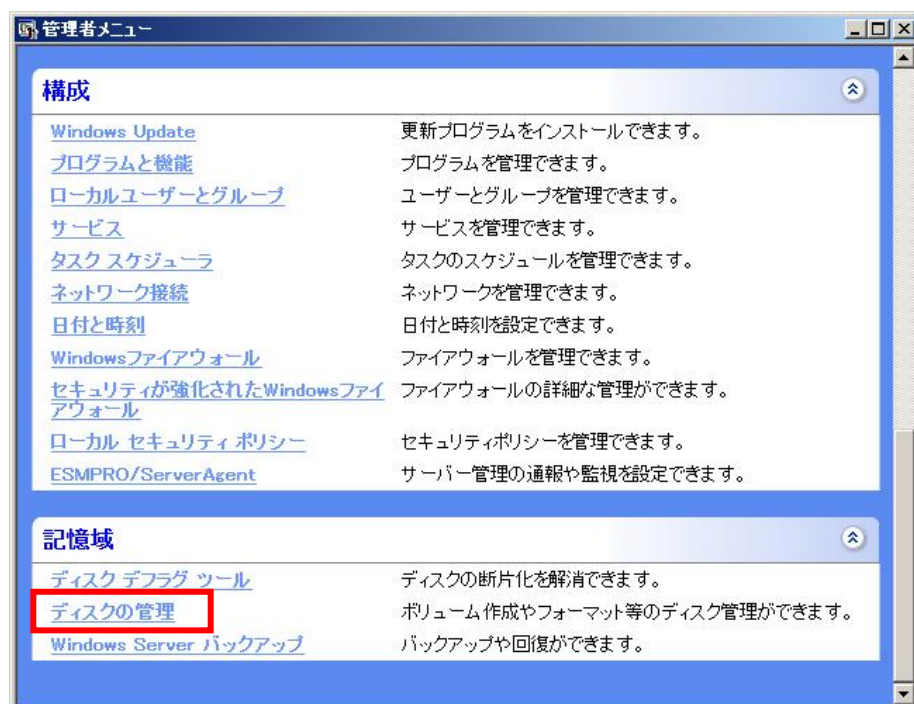
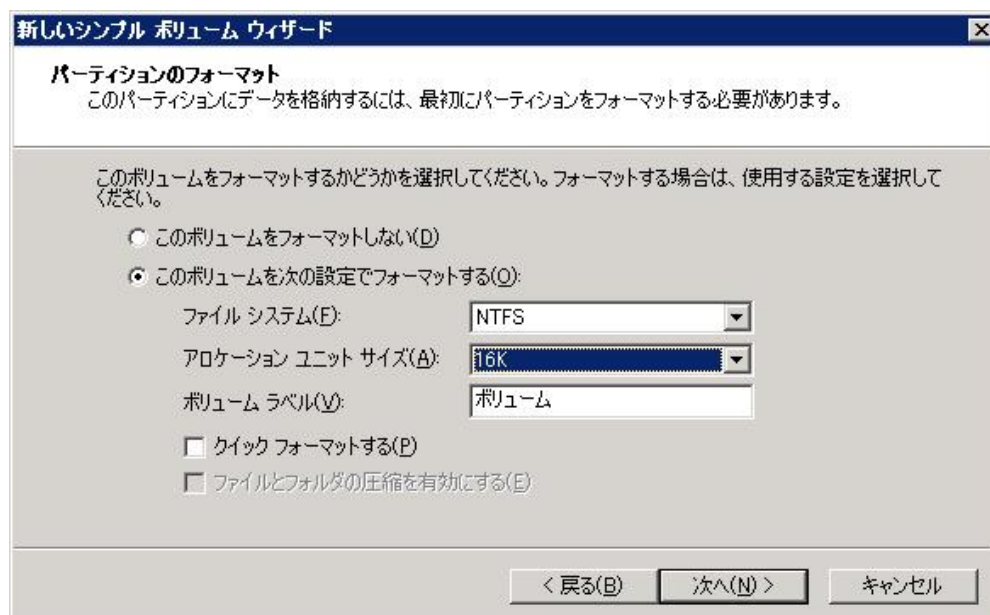
1.3　管理者メニュー

iStorage NS では、設定や運用時に管理者メニューを使用します。

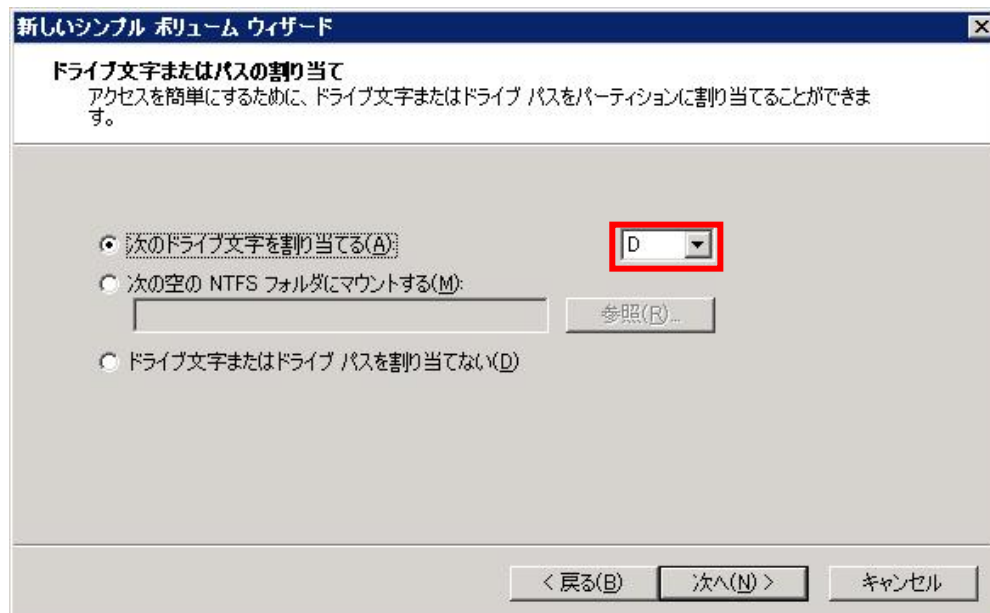
1.3.1　管理者メニューの起動

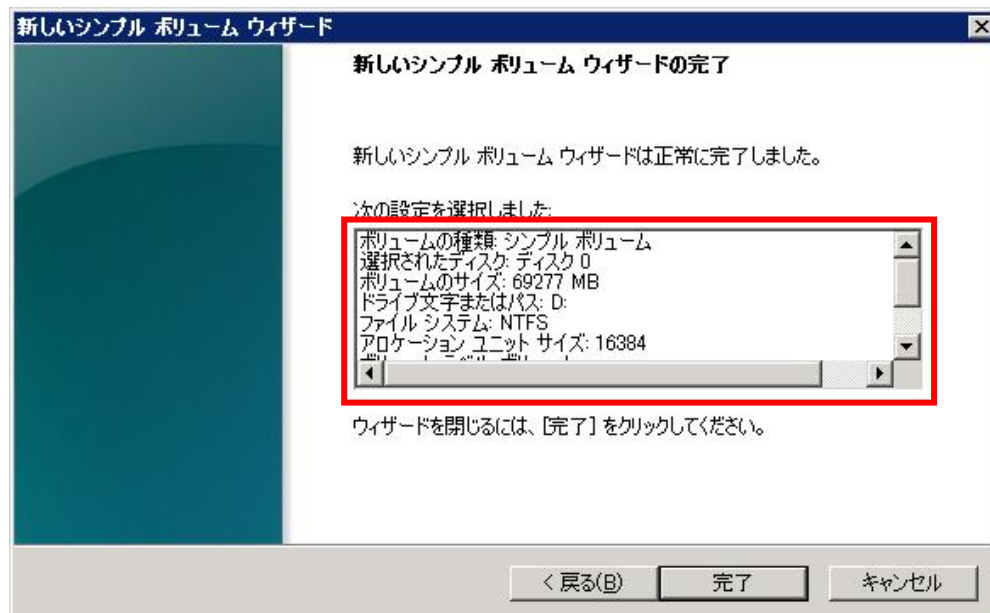
管理者メニューは、リモートデスクトップ等で iStorage NS にログオンすると自動起動します。また、ディスプレイ、キーボード、マウスを接続してログオンしても同様です。自動起動しなかった場合や画面を閉じた後に再度起動させる場合は、デスクトップ上のショートカットアイコンをダブルクリックしてください。

1.4　ディスクの管理

ディスクの管理では、パーティションとボリュームの作成、それらのフォーマット、ドライブ文字の割り当てなど、ディスクに関連した基本的なタスクを実行できるだけでなく、フォールトトレラントなボリュームの作成と修復など、高度な作業も実行できます。ここでは、ボリュームの作成方法を説明しますが、その他の機能の操作方法はオンラインヘルプをご参照ください。

1.4.1　ボリュームの作成

1.　管理者メニューの [ディスクの管理] をクリックします。

2. 未割り当て領域を右クリックし、[新しいシンプルボリューム] をクリックします。

3. ウィザードが起動したら、[次へ] ボタンをクリックします。

4. 作成するボリュームのサイズを指定し、[次へ] ボタンをクリックします。

5. ドライブ文字を指定し、[次へ] ボタンをクリックします。

6. フォーマットの有無を指定して [次へ] ボタンをクリックします。作成するボリュームでシャドウコピーを設定し、デフラグを実行する場合は、[アロケーションユニットサイズ] を 16K以上に設定し、[次へ] ボタンをクリックします。

7. 設定内容が正しいことを確認し、[完了] ボタンをクリックします。

1.5　ユーザー/グループ管理

iStorage NS をワークグループでご使用の場合、以下の手順でローカルユーザーとグループを設定してください。iStorage NS をドメインに参加させ、メンバサーバーとして使用する場合は、ローカルユーザーやグループを設定する必要はありません。

1.5.1　ローカルユーザーの作成

1. 管理者メニューの [ローカルユーザーとグループ] をクリックします。

2. [ユーザー] を右クリックし、[新しいユーザー] をクリックします。

3. ユーザー名等を指定し、[作成] ボタンをクリックします。

その後、作成したユーザーのプロパティを開き、所属するグループ等必要に応じて設定してください。

【注意】
- パスワードの有効期限は初期設定では 42 日になっておりますので、お客様のポリシーに合わせて適宜変更してください。
- パスワードの文字数は 6 文字以上である必要があります。また、パスワードには、英大文字、英小文字、数字、アルファベット以外の文字の 4 つの種類のうち 3 つの種類が使用されていなければなりません。

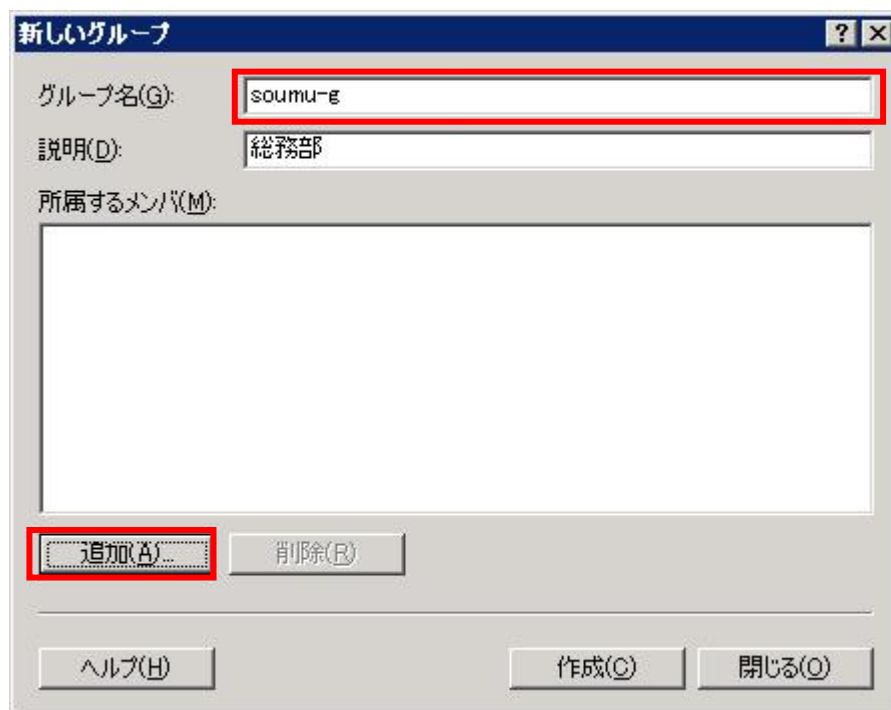
クライアントからユーザーパスワードを変更するには、以下の手順で行います。

1. クライアント PC で、[Ctrl+Alt+Del] を押下します。

2. [パスワードの変更] ボタンをクリックします。

3. 変更内容を下記の表を基に入力して [OK] ボタンをクリックします。

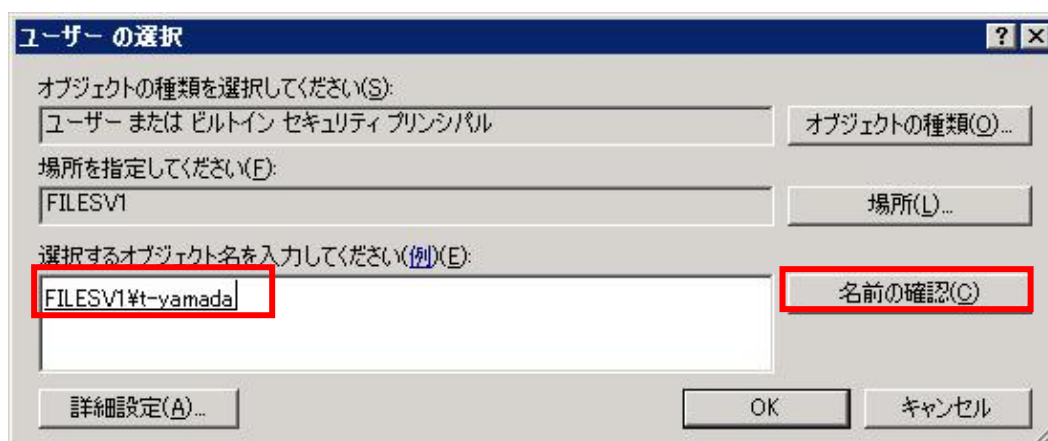
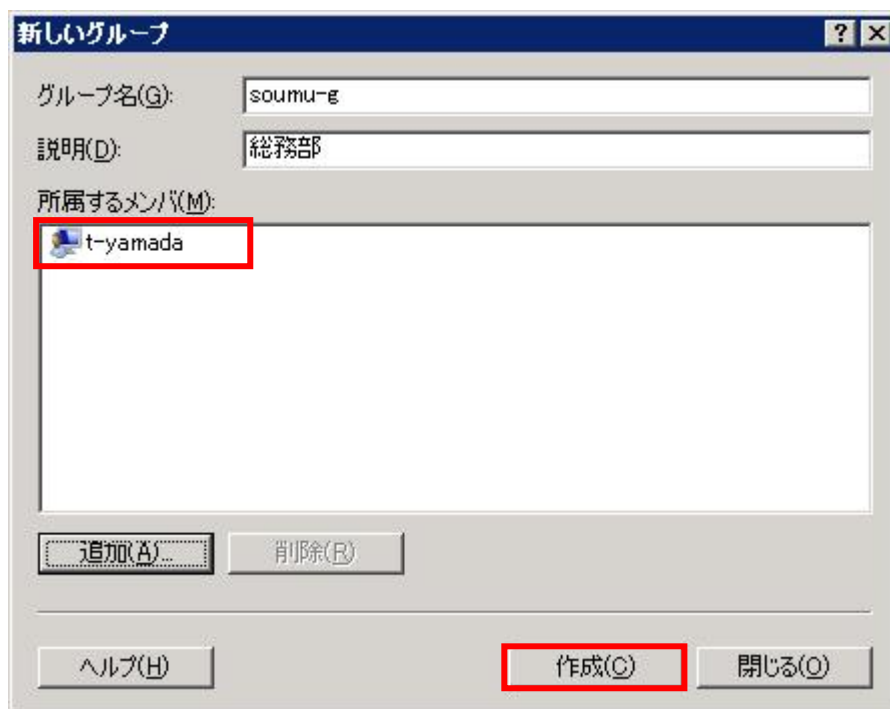
項目名	入力内容
ユーザー名	パスワードを変更するユーザー名
ログオン先	iStorage NS のコンピュータ名※
古いパスワード	変更前のパスワード
新しいパスワード	新たに設定するパスワード
新しいパスワード（確認入力）	新たに設定するパスワードの再入力

※コンピュータ名はキーボードより入力してください。

1.5.2 ローカルグループの作成

1. 管理者メニューの [ローカルユーザーとグループ] をクリックします。

2. [グループ] を右クリックし、[新しいグループ] をクリックします。

3. グループ名、説明を入力し、[追加] ボタンをクリックします。

4. [ユーザー の選択] 画面が表示されるので、[選択するオブジェクト名を入力してください] の欄に追加するユーザーを入力して [名前の確認] をクリックします。
確認されたら [OK] ボタンをクリックします。

5. [所属するメンバ] に追加したユーザーが表示されていることを確認して [作成] ボタンをクリックします。

6. [閉じる] ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。

その後、作成したグループのプロパティを開き、必要に応じて設定してください。